

STAGE 4-12

横浜みらいHRD・横浜みらいサテライト

建替え 稼働中

竣工 DATA

竣工年月	2020 (令和2) 年	
設計者	東亜建設工業	
施工者	東亜建設工業	
施設概要	敷地面積	6,724.91㎡
	延べ床面積	6074.11㎡ (サテライト含む)
	構造	RC造一部S造2階建
	プラットフォーム	密閉型高床式・8/バース
	防熱方式	断熱パネル工法
収容能力	総トン数	5,064.8t
	F級	5,064.8t
	C級	×
	C&F	×
	ドライ	×
	凍結	×
冷却設備	施工者	前川製作所
	冷凍機メーカー	前川製作所
	主要冷凍機	NH ₃ -CO ₂ 冷凍機(スクリュー)
	冷媒	アンモニア-CO ₂
	冷却方式	セミ集中式・二次冷媒式・ユニットクーラー
荷捌室低温化	1階+5℃・2階-5℃	
その他設備	ロープ式エレベーター 2基(ルームレス)、太陽光発電設備159.6kW、よこはまみらいサテライト併設	



横浜みらいHRD



実地研修可能な1階プラットフォーム



高効率自然冷媒冷凍機「NewTon」



太陽光発電システムの構成図

はかなり小さいのだけど、フォークリフトなどの実地研修を現場の施設を使用して行えるほか、現在庫腹がひっ迫している京浜地区の在庫の緩和のため、横浜物流センターのサテライト機能としての役割もできるようにしているんだ。

Q 設備はどのようなですか？

A 冷却設備は、高効率自然冷媒冷凍機(NewTon)を採用しているよ。また、より円滑な入出庫のため、トラック予約受付システム「Yokorei Truck Reserve System」を導入し、入退館のフードディフェンスシステム、環境に配慮した太陽光発電設備の設置など、コンパクトな施設の中に最新のノウハウがたくさんつぎ込まれているんだよ。それと、工期が短く、経済性に優れながらも地震などの災害にも強いRCSハイブリッド構法でここは建てられているんだ。

ではないかとの回答がたくさん寄せられた結果建てられた施設なんだよ。

Q HRDって、どういう意味ですか？

A 「HRD」は、Human Resource Developmentの略称、つまり『人材開発』って意味で、ここには70～80人が入れる研修ルームや、当社のシステム開発を行うPCルームも完備しているんだよ。

横浜みらいサテライトは、庫腹量約5千トと、当社の冷蔵倉庫として

コンパクトでノウハウのいっぱいの冷蔵倉庫と、当社初の研修センターが完成!

Q 子安工場跡地に、なにやらカッコいい建物ができましたね。

A ここは、1969(昭和44)年から2017(平成29)年まで当社最長の48年間営業を続けた子安物流センターや2002(平成14)年まで本社ビルもあった、当社の聖地のような場所なんだ。旧子安物流センターを閉鎖するに当たって、次に何をすれば良いか社員全員にアンケートを取り、人材育成に特化した施設と、実地研修も行える冷蔵倉庫が良いの



横浜みらいサテライト(2020(令和2)年)

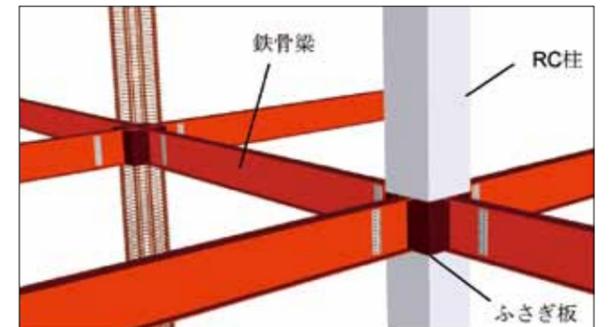
柱RC梁Sハイブリッド構法(東亜建設工業株式会社)

Technical Note

柱RC梁Sハイブリッド構法とは？

階高が高く大スパン架構の商業施設や物流施設などには、S造が主に採用されている。しかしS造は、溶接施工、耐火被覆、柱脚処理などの作業がコストアップの要因となるため、施工性、経済性に優れた構法として考えられたのが混合構造構法の「柱RC梁Sハイブリッド構法」。圧縮力に強いRC部材を「柱」に、曲げやせん断に優れ、かつ軽量であるS部材を「梁」に用いることで、大スパン・大空間を可能とする。

本構法は、S造と比較して躯体で5～10%程度のコストダウンが見込めることができ、梁はS造の特性を生かすことにより軽量で大スパンの大空間を可能としている。また、架構が容易なことから工期の短縮にもつながる。



RCS構法イメージ図

	RC造	SRC造	S造	CFT造	RCS造
空間の自由度	△	○	◎	◎	◎
地震・台風時の揺れ	◎	◎	△	○	◎
耐火性	◎	◎	△	○	○
施工性	○	△	◎	○	○
経済性	○	○	◎	△	◎

従来構法との比較 ◎:非常に優れている、○:優れている、△:普通

column 横浜みらいHRDの主な設備



入口で信楽焼の狸がお出迎え。



大きな書庫室。



収容人数に合わせて広さを変えられる研修ルーム。



ミーティングルーム



子安浜の運河が一望できるホール。



畳敷きの和室まである。